

タイトル「2021年度スポーツ科学部(公開用\_コロナ対策版)」、フォルダ「スポーツ科学部」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3614		
科目名	コーチング学演習		
担当教員	森丘 保典		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 2		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>D P 3 - G (状況把握力・判断力) 自らの置かれた状況、及び自分が所属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>D P 4 - I (理解力・分析力) 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>D P 5 - J (創造的挑戦力・達成力) コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。</p> <p>D P 6 - K (表現力・対話力) 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンスルーブリック (C R) との関連</p> <p>G 1 状況把握 (30%)</p> <p>I 1 理解・分析と読解 (20%)</p> <p>I 3 情報分析 (20%)</p> <p>J 1 継続的学修基盤 (20%)</p> <p>K 2 オーラルコミュニケーション (10%)</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>「コーチング学」では、スポーツにおけるトレーニングの目標・原理・内容・方法・競技に関する理論等を体系的にまとめることによって、トレーニングやコーチングに役立てようとする種目横断的な一般理論の構築が目指されています。この演習では、前述したコーチング学における課題について、調査・研究を通じて一般化できる内容を抽出し、考察します。授業形態は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。</p> <p>■キーワード 競技スポーツ・コーチング・理論・実践</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 コーチング哲学およびトレーニングサイクルについての理解を深めることにより、コーチング活動の最適化に向けた諸方策を導き出していく能力を身につけましょう。</p> <p>■授業の目的 競技スポーツにおけるダブルゴールである競技力の向上と人間力の育成を両立させることの前提となるコーチング哲学およびトレーニングサイクルについての理解を深めることにより、自身の（セルフ）コーチング活動の最適化に向けた諸方策を導き出していき反省的実践家としての能力を涵養することを目的とします。</p> <p>■授業のポイント 一般に、スポーツ活動におけるコーチングの目的としては競技力の向上と人間力の育成というダブルゴールが設定されますが、その両者を促進するためには、個（プレーヤー）に対するコーチングはもとより、集団（チーム、クラブなど）としての相乗効果を引き出すコーチング活動が不可欠です。本演習では、コーチングに関する内外の文献等をレビューすることによって、コーチングの本質を理解し、現状の常識にとらわれない創造的なコーチングを構築できる能力を養成します。</p>		
総合到達目標	<p>■自身の（セルフ）コーチング活動の最適化に向けた諸方策を導き出していき反省的実践家としての能力を涵養するために、競技スポーツの本質やコーチングに関する思考・行動（トレーニング）サイクルのあり方についての理解を深めることを通して、コーチングの本質を理解し、常識にとらわれない創造的なコーチング活動を実践できる能力を修得する。</p> <p>・コーチングに関する文献（情報）について整理し、批判的な分析・読解ができる。（第2～3回、第6～7回、第10～11回）</p> <p>・分析・読解した内容について、自身の（セルフ）コーチング活動と関連づけて説明することができる。（第4回、第8回、第12回）</p> <p>・学修した内容を自身の今後の活動に応用するための展望・方略について具体的に述べるができる。（第5回、第9回、第13～15回）</p>		
成績評価方法	<p>■プレゼンテーション（文献概要）3回（50%）：適用ルーブリック G 1・I 1・K 2 （評価の観点）テキストや文献の内容理解を踏まえて、自身の思考や行動変容に結びつけることができているか、それを分かりやすく発表できているかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に優れたリアクションペーパーの内容紹介と解説を行います。</p> <p>■レポート1回（50%）：適用ルーブリック I 3・J 1 （評価の観点）当該単元全体の理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に優れたレポートの内容紹介と解説を行います。</p>		

履修条件	コーチング学原論（SSCS1306）を履修していること	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ オリエンテーション ②授業概要 本演習の概要、授業の進め方と評価および学修を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようになる。 ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、授業の全体像や評価等、自分の学修計画などについて確認する。
	2	①授業テーマ スポーツとは何か① ②授業概要 近代スポーツの成立と発展の歴史や21世紀のスポーツの特性について、教科書の該当部分を精読し、重要であると思われる点やさらに理解を深めてみたい内容について整理することができるようになる（I 1、I 3）。 ③予習（120分） 教科書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要であると考えた事項に関連する文献を入手する。
	3	①授業テーマ スポーツとは何か② ②授業概要 近代スポーツの成立と発展の歴史や21世紀のスポーツの特性について、さらに理解を深めるために選択した文献を精読し、要点についてまとめることができるようになる（I 1、I 3）。 ③予習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要であると考えた事項に関連する文献を入手する。 ④復習（120分） 文献概要の作成に向けて、精読した文献の要点について整理する。
	4	①授業テーマ スポーツとは何か③ ②授業概要 教科書および関連文献の精読を踏まえて、その概要を発表資料としてまとめることができるようになる（G 1、J 1）。 ③予習（120分） 教科書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 授業でまとめた概要について整理し、次回のグループ内発表に向けた準備を行う。
	5	①授業テーマ スポーツとは何か④ ②授業概要 前回の授業および復習で作成した概要について小グループ内で発表（共有）し（K 2）、質疑応答や議論を行うことにより、テーマの要点や自身の考えについて整理することができるようになる（G 1、J 1）。 ③予習（120分） 授業でまとめた概要について整理し、グループ内発表に向けた準備を行う。 ④復習（120分） 質疑応答や議論の内容を踏まえて、自身が作成した文献概要の加筆修正を行う。
	6	①授業テーマ コーチ・コーチングとは何か① ②授業概要 コーチ・コーチングのあり方について、教科書の該当部分を精読し、重要であると思われる点やさらに理解を深めてみたい内容について整理することができるようになる（I 1、I 3）。 ③予習（120分） 教科書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要であると考えた事項に関連する文献を入手する。
	7	①授業テーマ コーチ・コーチングとは何か② ②授業概要 コーチ・コーチングのあり方について、さらに理解を深めるために選択した文献を精読し、要点についてまとめることができるようになる（I 1、I 3）。 ③予習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要であると考えた事項に関連する文献を入手する。 ④復習（120分） 文献概要の作成に向けて、精読した文献の要点について整理する。
	8	①授業テーマ コーチ・コーチングとは何か③ ②授業概要 教科書および関連文献の精読を踏まえて、その概要を発表資料としてまとめることができるようになる（G 1、J 1）。 ③予習（120分） 教科書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 授業でまとめた文献概要について整理し、次回のグループ内発表に向けた準備を行う。

9	<p>①授業テーマ コーチ・コーチングとは何か④</p> <p>②授業概要 前回の授業および復習で作成した概要について小グループ内で発表（共有）し（K2）、質疑応答や議論を行うことにより、テーマの要点や自身の考えについて整理することができるようになる（G1、J1）。</p> <p>③予習（120分） 授業でまとめた文献概要について整理し、グループ内発表に向けた準備を行う。</p> <p>④復習（120分） 質疑応答や議論の内容を踏まえて、自身が作成した文献概要の加筆修正を行う。</p>
10	<p>①授業テーマ トレーニングの構造①</p> <p>②授業概要 トレーニングサイクルにおける循環モデルについて、教科書の該当部分を精読し、重要である点やさらに理解を深めたい内容について整理することができるようになる（I1、I3）。</p> <p>③予習（120分） 教科書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要である点と考えた事項に関連する文献を入手する。</p>
11	<p>①授業テーマ トレーニングの構造②</p> <p>②授業概要 トレーニングサイクルにおける循環モデルについて、さらに理解を深めるために選択した文献を精読し、要点についてまとめることができるようになる（I1、I3）。</p> <p>③予習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要である点と考えた事項に関連する文献を入手する。</p> <p>④復習（120分） 文献概要の作成に向けて、精読した文献の要点について整理する。</p>
12	<p>①授業テーマ トレーニングの構造③</p> <p>②授業概要 教科書および関連文献の精読を踏まえて、その概要を発表資料としてまとめることができるようになる（G1、J1）。</p> <p>③予習（120分） 教科書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。</p> <p>④復習（120分） 授業でまとめた文献概要について整理し、次回のグループ内発表に向けた準備を行う。</p>
13	<p>①授業テーマ トレーニングの構造④</p> <p>②授業概要 前回の授業および復習で作成した概要について小グループ内で発表（共有）し（K2）、質疑応答や議論を行うことにより、テーマの要点や自身の考えについて整理することができるようになる（G1、J1）。</p> <p>③予習（120分） 授業でまとめた文献概要について整理し、グループ内発表に向けた準備を行う。</p> <p>④復習（120分） 質疑応答や議論の内容を踏まえて、自身が作成した文献概要の加筆修正を行う。</p>
14	<p>①授業テーマ まとめと授業内レポート</p> <p>②授業概要 講義ノートや文献概要を参照しながら、学修した内容のコーチング実践への応用について説明できるようになる（G1、J1）。</p> <p>③予習（120分） 講義ノートや文献概要を確認し、各回のポイントを整理して総括できるように準備する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートや文献概要を再読し、各回のテーマについての自身の考えや疑問点などについて整理する。</p>
15	<p>①授業テーマ 全体の振り返り</p> <p>②授業概要 これまでの学修内容のポイントについて振り返りながら、日本スポーツ協会（旧日本体育協会）での実務経験を踏まえた情報提供と全体のまとめ、質疑応答を行う。</p> <p>③予習（120分） 講義ノートや文献概要を再読し、各回のテーマについての自身の考えや疑問点などについて整理する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートや文献概要を振り返りながら、今後の自身の学修および実践の方向性について検討する。</p>
関連科目	競技スポーツ原論（SSCS1305）、コーチング学原論（SSCS1306）、コーチング学研究法演習（SSCS2317）
教科書	特に指定しません。
参考書・参考URL	コーチング学への招待（大修館書店） グッドコーチになるためのココロエ（培風館） スポーツ・コーチング学（西村出版）
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 開講時に告知します。</p> <p>■オフィスアワー 金曜3限 それ以外の時間については、メールにて事前にアポイントをとればラーニングセンター等で対応します。</p>
研究比率	

